

2022年5月20日

各位

会社名 株式会社フルッタフルッタ  
代表者名 代表取締役社長執行役員 CEO 長澤 誠  
(コード番号: 2586 東証グロース市場)  
問合せ先 取締役執行役員 徳島 一孝  
TEL. 03-6272-3190

### ESG 事業の取組み

#### カカオ豆の販売で 2,250 トンの CO<sub>2</sub>削減量到達

株式会社フルッタフルッタ（本社：東京都千代田区、代表取締役 CEO：長澤 誠）では、2021 年度収穫のカカオ豆が目標としていた数量に到達しました。このブラジルの提携農協・トメアス 総合農業協同組合（CAMTA）で生産しているアグロフォレストリー農法（注1）由来のカカオ豆による CO<sub>2</sub>削減量は、2,250t（注2）と試算しております。

#### 1. 経緯

SDGs の機運が世界的に高まっている中、日本でも様々な企業活動が注目されています。当社は創業より、CAMTA の「アグロフォレストリー農法」を支援してまいりました。アグロフォレストリー農法により育った森が CO<sub>2</sub>を吸収するサイクルは、CO<sub>2</sub>固化量の増加を確実に実現でき、当社の目指す持続可能な社会の実現への一歩となると考えております。

カカオ豆はアグロフォレストリー農法の中心的存在で、その生産拡大を実現することはアグロフォレストリーの広がりにも繋がることから、当社では ESG 事業（注3）の重要な取組として掲げており、CO<sub>2</sub>削減量を公開する取組みを始めることをお知らせしています。

この度、2022年5月19日付「ESG 事業 アグロフォレストリーによる CO<sub>2</sub>削減量可視化の取組み」の一環として、2021 年度のカカオ豆生産による CO<sub>2</sub>削減量を算出したところ、2,250t となりました。

#### 2. 今後の取り組みと見通し

2021年12月14日開示の「事業計画及び成長可能性に関する事項」に記載のとおり、当社はアグロフォレストリー原料の消費を広げることで、アグロフォレストリー農法の拡大に貢献することを目指しております。今後もカカオ豆のみならず様々な原料・商品の販売を通して、アグロフォレストリーの拡大と CO<sub>2</sub>削減量をふやす取り組みを進め、環境貢献に対する様々な情報を積極的に公開することで、ESG 事業の取組みの成果を発信していく予定です。

#### 3. 業績への影響

現時点では業績への具体的な影響は軽微であります。当社の将来的企業価値に資するものと考えております。

（注1）

農林複合経営、混農林業、森林農業ともいわれ、自然の森に近い状態で栽培することで、畑は多様性を取り戻し、従来の単一栽培ではできなかった持続的な生産が可能となります。農業をしながら森を再生する農法です。

（注2）

ブラジル・パラ州トメアスにおけるアグロフォレストリー事業による二酸化炭素吸収量の概算と CDM 化の検討 2010 年 12 月 9 日三菱 UFJ モルガン・スタンレー証券株式会社クリーン・エネルギー・ファイナンス委員会を基に自社にて算出。

（注3）

ESG 事業とは、長期にわたって持続的な成長を目指すために必要な 3 つの要素、「環境（Environment）」「社会（Social）」「企業統治ガバナンス（Governance）」の頭文字を取ったものですが、当社では、環境再生型事業をベースにした自然資本主義の事業を意味します。

以上